

平成 16 年第 1 回日本岩石鉱物鉱床学会・日本鉱物学会
合同評議員会議事録

日時：平成 16 年 5 月 11 日(火) 18:00～20:00

場所：千葉幕張メッセ国際会議場 101B

議長：荒井岩鉱学会会長

書記：吉朝 朗（鉱物学会庶務幹事）

出席者：荒井章司岩鉱学会会長、飯石一明鉱物学会会長、
赤井純治、有馬 真、石渡 明、板谷徹丸、榎並正樹、
大谷栄治、奥山康子、小畑正明、工藤康弘、黒澤正紀、
小山内康人、佐藤博明、谷口宏充、土山 明、中井 泉、
中牟田義博、西山忠男、藤野清志、藤巻宏和、松井正典、
松原 聡、宮下継夫、宮脇律郎、柳沢教雄、塚本尚義、
吉朝 朗、吉田武義 以上 29 名

議題

1. 報告事項

(1) 雑誌出版の現状と今後についての報告

和文誌編集委員会委員長(藤巻)より編集状況の報告があった。
超塩基性岩に関する特集号を刊行する。

和文誌編集委員会鉱物学会グループ責任者(松原)より編集状況
の報告があった。特集号「炭素・炭酸塩鉱物」を刊行する。
欧文誌編集委員会委員長(藤野)：

- ・編集状況の報告があった。
- ・電子ジャーナルは 6 月 10 日をめどに J ステージ上に公開す
る。現在のフォーマットで利用可能なリンク用自動解析シス
テム(新たな課金はされない)を、導入する。
- ・定期刊行、受理論文の増加、受理までの時間の短縮に努力し、
ISI データベースの登録に向けてさらに働きかける。

(2) 「鉱物・岩鉱学会統合に向けたワーキンググループ」(荒井、
吉田、石渡、小山内、榎並、中村、飯石、松井、土山、宮脇、
藤野、工藤)からの報告。

・鉱物、岩鉱両学会が将来統合に向かうことについてはワーキ
ンググループ内で一致しているが、統合へのタイムスケジュ
ールについては、慎重にすすめるべきだとの意見と、例えば
IMA2006-Kobe 開催に合わせてできるだけ早くとの両論があ
る。・学会統合に向けた 1 つのステップとして、「鉱物学会の
学会事務を岩鉱学会事務局に委託した場合(以下事務統合と
呼ぶ)財政的にどうなるか」を岩鉱学会に試算いただいた。
その結果、事務統合した場合は、鉱物学会の経費は年間計 93
万円減少するとの見積りを得た。

(3) 科研費助成金について(工藤)：平成 16 年度 JMPS 科研費補助
金として 320 万円内定(平成 15 年度より 30 万円増額)。

(4) IMA2006-Kobe 組織委員会(大谷)が 5 月 11 日 13:15 より幕張
会場にて行われた旨報告された。学術会議が共同主催になった。
First circular を 7 月に印刷する。ロゴマークが決まった。

(5) 惑星科学研連科研費細目の見直しが行われるので、協力の依頼
があった(土山)。

2. 審議事項

(1) 2006 年度の年会の開催方式と開催地選定方法 2005 年度の開催
候補地として IMA の開催を考慮して神戸大学(佐藤、留岡)
より開催了解の打診があった旨、紹介された。

(2) 次年度の鉱物学会から岩鉱学会への業務委託費を今年度と同様
にする旨、了承された。2005 年の年会は愛媛大学にて行われ
る旨、報告された。

(3) 三鉱連絡会議(吉田、塚本)

- ・三鉱シンポジウムは IMA を配慮したテーマで愛媛にて行う
(当番は岩鉱)。
- ・名簿、冊子体での作成に年度内にとりかかる。

次回の評議員会は、岩鉱学会学術講演会、鉱物学会年会(2004 年
9 月 22 日-9 月 24 日、岡山大学)の際に行われる予定。